

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・基盤教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S150004	上原秀一	教育哲学	今日の教育に関する諸概念を哲学的に吟味するために、過去の教育思想に関する基礎的な知識を修得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。	・近代における教育思想の課題の構造を理解する。 ・今日の教育思想の構造の歴史的な成り立ちを理解する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S150106	上原秀一	国際化と教育	国際化の進展に伴って今日の学校と社会に生じている様々な教育課題について基礎的な知識を習得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。	・教育における国際化の進展状況を統計などを活用して理解する。 ・教育の国際化に対応した様々な教育改革の進展状況を理解する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S152007	藤井佐知子	比較教育	諸外国の教育や学校の制度・態様を比較教育文化論的観点から学び、各国の特色を明らかにするとともに、それらとの比較を通して日本の教育・学校の特徴を浮き彫りにしていく。個人・グループによる発表と全員によるディスカッションを行う。	学校教育専攻の専攻専門科目（教育学領域）の一つとして、国際的視野から教育の歴史、現状、課題などの比較検討を行うことで、教育に関する幅広い教養と興味関心を喚起する。	・現在日本で問題になっている教育事情を国際的観点で考察できるようになる。 ・各自のテーマに沿って文献資料を元に発表資料を作成し、的確な発表を行うことができる。 ・発表内容について質問・意見を出すなど、議論に積極的に参加することができるようになる。 ・政治・経済・文化などと関連づけながら教育問題を考察できる能力を養う。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.4	0.2
S154409	(未定)	日本教育思想史	本授業では、「文学でつづる日本の教育思想史」と題して、特に明治期から現代までの主な〈教育文学〉をとりあげて、各時代の教育（特に学校教育）の特徴と教育思想上の問題について、受講者とともに考えていく。	本授業は、学校教育専攻の選考専門科目であり、教育の歴史に関する知識を修得し、専門分野について理解する点に対応していく。	・わが国の近代から現代の教育思想の歴史的特徴とその課題について理解する。 ・特に、人間観（子ども観）と形成観の二つの視点から、明治期、大正期、昭和前期、昭和後期、そして現代の五つの時期の特徴を理解する。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2
S156002	青柳 宏	教育方法学	幼児教育、学校教育、その他の教育現場（少年院、識字教室等）における教育方法について、ビデオの視聴、文献の購読を通して検討していく。	学校教育専攻の専門科目であり、校種、教育内容をこえて、人間形成の視点から教育方法についてのより高度な知見の獲得をめざす。	教育の方法について、人間形成の視点から構想することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・基盤教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S157009	青柳 宏	授業の研究	受講者による模擬授業とその省察「対話としての授業」という視点から、模擬授業の構想、実践、省察に関わる指導をおこなう。	学校教育専攻の専門科目であり、校種、教育内容をこえて、「対話としての授業」という視点から授業を自由に構想し、実践し、省察する力を育む。	「対話としての授業」という視点から、模擬授業を構想、実践、省察することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	未定	学級経営	主に小・中学校における学級担任の職務についての全体的、構造的な理解を図り、学級担任を担うことができる基礎知識を与えることが、本科目の目的である。わが国の学校教育における学級担任の仕事は、欧米諸国に比べきわめて幅広く構造的である。その理由は、生活指導（生徒指導）の仕事がわが国の学校教育において広い内容を含んでおり、そのおおくに学級担任がかかわっているからである。したがって、本科目の学習は、わが国の学校教育の目的、特質に即した学級担任の職務を遂行する上で重要である。	学級経営は、学級担任が学習指導と生徒指導の両機能を担任学級の経営の中で医科に調和的に実現していくかについて教えるものであり、生徒指導の上級科目というべきものであり、教職課程におけるより高い教育内容である。	学級担任の職務に関する医科のような基本的知識の習得が目標である。 ○学級担任の法定職務。 ○学級担任の教育上の職務。 ○生活指導（生徒指導）と学級担任の職務。 ○学級担任と教室管理について。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0	0.2
	丸山剛史	カリキュラム論	授業では、①カリキュラムの意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、課程共通科目「教育課程及び方法（特別活動を含む）」の学習をふまえて、カリキュラム概念・カリキュラム研究の動向に関して学習する。	・カリキュラムは教師と学校の働きかけの総体であるとともに、子どもの側からみれば「学びの経験」お総体であり、自主的・自発的活動の総体でもあることがわかる。 ・カリキュラムの構造は教科と教科外諸活動の2領域から成ることがわかる。 ・カリキュラム研究の動向と論点が見えてくる。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1
	丸山剛史	教師教育論	授業では、①教師教育の意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、教師論・教師教育概念・教師教育研究の動向に関して学習する。	・教師教育は、養成教育と現職研修とを含む概念であることがわかる。 ・学校において教育活動に従事する職員としての教員は専門職であることがわかる。 ・教師教育研究の動向と論点が見えてくる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0	0.2	0.3
	丸山剛史	教育評価論	授業では、①教育評価の意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、課程共通科目「教育課程及び方法（特別活動を含む）」の学習をふまえて、教育評価概念・教育評価研究の動向に関して学習する。	・教育評価は教師にとっては自らの教育実践をふりかえり、自己反省と自己点検を行う活動であり、子どもにとっては教師の評価活動をとらえて教師からあたえられる情報を契機に自らの学習活動を点検する活動であることがわかる。 ・教育評価研究の動向と論点が見えてくる。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4	0	0	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・基盤教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S158400	上原秀一	教育統計学	教育統計を活用して我が国や諸外国の教育の特徴を調べるための基礎的な知識を修得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。	・国内の教育統計を活用して我が国の教育の経年変化の状況を調べる方法を修得する。 ・国際的な教育統計を活用して我が国の教育の国際的な特徴を調べる方法を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S175043	(未定)	教育学演習 I	本授業では、現代のさまざまな教育問題を視野に入れながら、人間形成としての教育を「人間観」と「形成観」の両面から深く理解していくためにさまざまな文献を受講者と共に読み、それについて全員で議論していく。特に今回は、「人間」と「学び」をテーマとしていく。	本授業では、教育現場に於ける普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて主体的に判断できるための哲学的思考力を培うことに対応する。	・単に現代の教育問題を現象的に捉えていくのではなく、その根底にある哲学的、思想的課題を読み解くこと。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2
S175042	藤井佐知子	教育学演習 I	教育行政、教育政策、学校経営、教育制度の諸分野あるいは教育全般に関する内外の文献を購読し、受講者同士でディスカッションすることによって様々な見方や考え方に触れ、さらに考察を深めていくというプロセスを体験する。	学校教育専攻の卒業論文作成に向けた基礎的な知識と方法論を習得するための選択必修科目。	・教育に関する専門的な書物や論文をじっくり読み込み、自分なりの考察を深めることができるようになる。 ・上記作業を通じて、主体的な学習方法と論理的思考法を修得する。 ・受講者間のディスカッションを通じて、思考を広げ、深めることができるようになる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.4	0.2
S175041	上原秀一	教育学演習 I	今日の教育問題をさまざまに論じた本を読む練習を行う。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。	・教育学に関する卒業論文の課題を見つける。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S175069	青柳 宏	教育学演習 I	受講者が各自の問題意識（テーマ）に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。	教育に関わる諸問題について。自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・基盤教育 学習・教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	久保田善彦	教育学演習 I	受講者が各自の問題意識(テーマ)に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。	教育に関わる諸問題について。自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2
S175067	未定	教育学演習 I	実際的な教育問題、たとえば学習指導(学力問題など)、生徒指導(不登校、いじめ問題など)、教育課程(道徳教育、総合的学習の時間、特別活動など)を取り上げ、学生が自らの力で考察を深め、学問的、社会的に有意義な知識を産出しようる能力を育てる。		○研究課題の立て方についての基本的知識。 ○選ばれた研究課題についての専門的知識等。 ○研究の進め方についての知識及び技能。 ○作品としての研究成果のまとめ方についての知識。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2
	丸山剛史	教育学演習 I	授業では、(1)教育研究の意義、(2)学術論文の種類、(3)文献の探索と入手、(4)先行研究の批判と評価について演習を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、卒業論文作成のための準備的学習として位置づけられている。	・教育研究を行う意義がわかる。 ・論文(原著論文)、研究ノート、レポート(学習成果報告書)の区別がわかる。 ・文献の検索・入手方法を理解し、入手することができる。 ・先行研究を批判的に検討し、評価することができる。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0	0	0
	未定	教育学演習 I	実際的な教育問題、たとえば学習指導(学力問題など)、生徒指導(不登校、いじめ問題など)、教育課程(道徳教育、総合的学習の時間、特別活動など)を取り上げ、学生が自らの力で考察を深め、学問的、社会的に有意義な知識を産出しようる能力を育てる。	学生が教育問題に対し、研究的に取り組む力を育成するものであり、教員としての創造的資質をやしなう上で不可欠である。	○研究課題の立て方についての基本的知識。 ○選ばれた研究課題についての専門的知識等。 ○研究の進め方についての知識及び技能。 ○作品としての研究成果のまとめ方についての知識。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0	0	0
S176049	(未定)	教育学演習 II	本授業では、現代のさまざまな教育問題を視野に入れながら、人間形成としての教育を「人間観」と「形成観」の両面から深く理解していくためにさまざまな文献を受講者と共に読み、それについて全員で議論していく。特に今回は「人間」と「学び」をテーマとする。	本授業では、教育学部のDPの内容に即して、教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて主体的に判断できるための哲学的思考力を培うことに対応する。	・単に現代の教育問題を現象的に捉えていくだけではなく、その根底にある哲学テク、思想的課題を読み解くこと。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・基盤教育 学習・教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S176048	藤井佐知子	教育学演習Ⅱ	教育学演習Ⅰを踏まえて卒業論文のテーマを決定し、文献・資料収集および読み込みと並行して各自発表を行い、考察を深めながら論文執筆につなげていく。	学校教育専攻の卒業論文作成のための選択必修科目。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する専門的な書物や論文をじっくり読み込み、自分なりの考察を深めることができるようになる。</li> <li>・上記作業を通じて、主体的な学習方法と論理的思考法を修得する。</li> <li>・受講者間のディスカッションを通じて、思考を広げ、深めることができるようになる。</li> <li>・論文執筆に不可欠な論理的思考力と表現法を修得する。</li> </ul>	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.4	0.2
S176047	上原秀一	教育学演習Ⅱ	各自の問題関心に関係する教育思想史の原典テキスト（主に和文）や諸外国の教育事情に関する資料などを読む練習を行う。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の必修科目である。	・教育学演習Ⅰで見つけた卒業論文の課題について調査方法を検討する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S176065	青柳 宏	教育学演習Ⅱ	受講者が各自の問題意識（テーマ）に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。	教育に関わる諸問題について。自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2
	久保田善彦	教育学演習Ⅱ	受講者が各自の問題意識（テーマ）に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。	教育に関わる諸問題について。自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2
	未定	教育学演習Ⅱ	実際的な教育問題、たとえば学習指導（学力問題など）、生徒指導（不登校、いじめ問題など）、教育課程（道徳教育、総合的学習の時間、特別活動など）を取り上げ、学生が自らの力で考察を深め、学問的、社会的に有意義な知識を産出する能力を育てる。	学生が教育問題に対し、研究的に取り組む力を育成するものであり、教員としての創造的資質をやしなう上で不可欠である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究課題の立て方についての基本的知識。</li> <li>○選ばれた研究課題についての専門的知識等。</li> <li>○研究の進め方についての知識及び技能。</li> <li>○作品としての研究成果のまとめ方についての知識。</li> </ul>	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S176064	丸山 剛史	教育学演習Ⅱ	授業では、「教育学演習BⅠ」での学習をふまえて、(1)分析枠組みの設定方法、(2)報告・報告書作成の方法について演習を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、卒業論文作成のための準備的学習として位置づけられている。また、「教育学演習BⅠ」での学習を前提としている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「分析」の意義がわかる。</li> <li>研究の分析枠組みを設定することができる。</li> <li>要点を的確に整理し、報告することができる。</li> </ul>	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0	0	0
S160000	石川隆行	発達心理学	生涯発達心理学の視点により、精神発達の法則と機構について、講義します。特に発達と学習の相互作用に重点をおいて、現象的な変化の背後にある因果関係について考えます。	学校教育専攻の専門選択科目及び保育士資格取得のための必修科目であるため、乳幼児期から青年期までの発達を生涯発達との関連の中で、その様相とメカニズムについて学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達心理学の立場から、現実の幼児・児童・青年の行動と心を理解する手法と能力を身につけます。</li> <li>発達段階に応じた幼児・児童生徒の特性について基礎的な理解を深めます。</li> </ul>	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1
S161006	石川隆行	学習心理学	心理学の1つの専門分野である「学習心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に則して講義します。	学校教育専攻の選択専門科目の1つである。必修科目である「教育心理学」における学習と学習指導に関する内容を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習心理学」に関する基本的な知識を学習理論と学習指導法の面を中心に修得し、効果的な学習指導のあり方を考えることができるようにする。</li> </ul>	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
S162002	白石智子	臨床心理学	本授業では、臨床心理学の基礎知識として、心理的問題や精神障害について代表的なものをいくつか取り上げ、それぞれの症状にはどのようなものがあるか、また、どのように形成・維持・変化すると考えられているかについて、生物学的・心理的・社会的視点から講義する。	本授業は、学校教育専攻の学校教育専攻専門科目に含まれ、専攻の専門性を高めるという目標に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理的問題や精神障害の操作的定義およびメカニズム論について、最低限の知識を身につけること。</li> <li>学びを通して、人間を多角的・統合的に捉えられるようになること。</li> </ul>	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2
S163009	澤田匡人	社会心理学	心理学の1専門分野である「社会心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に即して講義する。	中学校・高等学校の「公民」免許を取得するための選択必修科目であり、学校教育専攻の1専門分野である「教育心理学」に関する基礎的講義科目としての意義を持つ。社会調査に関する教材研究を行うのに必要な知識と技能を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会心理学に関する基本的な知識と研究方法を具体例に則して修得する。</li> <li>各自の体験にも拡張される様々な現象について社会心理学的な理解を深める。</li> </ul>	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1
S160500	川原誠司	人格心理学	人格心理学に関する基本的事項(性格の種類と特性、性格検査、人格発達、人格障害)を講義する	本授業は、学校教育専攻の学校教育専攻専門科目に含まれ、専攻の専門性を高めるという目標に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人格についての基本的な知識や見方を習得すること。</li> </ul>	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2	0.1	0.1	0





教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・基盤教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S950145	澤田匡人	感情心理学特講	心理学の1専門分野である「感情心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に即して講義する。	学校教育専攻の選択専門科目の一つとして、感情全般に関する基礎知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。	・感情心理学に関する基本的な知識と研究方法を具体例に則して修得する。 ・各自の体験にも拡張される様々な現象について感情心理学的な理解を深める。	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1
S178111	橘川 眞彦	教育心理学演習A	卒業論文の研究テーマの探索のために、教育心理学の研究論文を熟読し、その概要を発表すると同時に、発表者または教員の提示する話題について受講生同士で検討する。	学校教育専攻の専門科目であり、教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。	心理学の研究論文や専門の文献を講読し、発表、相互検討することによって個々の論文の内容について理解するとともに、その過程で研究論文の書き方の基礎を学び、さらに各自の卒業論文のテーマについて具体化していくことを目標とする。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
S179118	澤田匡人	教育心理学演習B	卒業論文の研究テーマの探索のために、教育心理学の研究論文を熟読し、その概要を発表すると同時に、発表者または教員の提示する話題について受講生同士で検討する。	学校教育専攻の専門科目であり、教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。	心理学の研究論文や専門の文献を講読し、発表、相互検討することによって個々の論文の内容について理解するとともに、その過程で研究論文の書き方の基礎を学び、さらに各自の卒業論文のテーマについて具体化していくことを目標とする。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1
S180019	石川隆行	教育心理学演習C	卒業論文の研究テーマの探索のために、教育心理学の研究論文を熟読し、その概要を発表すると同時に、発表者または教員の提示する話題について受講生同士で検討する。	学校教育専攻の専門科目であり、教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。	心理学の研究論文や専門の文献を講読し、発表、相互検討することによって個々の論文の内容について理解するとともに、その過程で研究論文の書き方の基礎を学び、さらに各自の卒業論文のテーマについて具体化していくことを目標とする。	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
S181058	川原誠司	教育心理学演習D	卒業論文の研究テーマの探索のために、教育心理学の研究論文を熟読し、その概要を発表すると同時に、発表者または教員の提示する話題について受講生同士で検討する。	学校教育専攻の専門科目であり、教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。	心理学の研究論文や専門の文献を講読し、発表、相互検討することによって個々の論文の内容について理解するとともに、その過程で研究論文の書き方の基礎を学び、さらに各自の卒業論文のテーマについて具体化していくことを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1	0	0.2	0



教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育専攻)

学習・基盤教育 教育目標	( $\alpha$ 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	( $\beta$ スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	( $\gamma$ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						( $\alpha$ )	( $\beta$ )	( $\gamma$ )	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S185002	全教員	学校教育専攻卒業論文	学校教育の教育学、教育心理学分野のうち、受講生が選択した分野について、自らの問題意識のもとでテーマ設定を行い、調査・研究し、論文執筆および口頭発表を行う。	学校教育教員養成課程の「学校教育専攻専門科目」の必修科目であり、学校教育の基盤となる教育学又は教育心理学を学ぶための科目である。	卒業論文の完成を到達目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.1	0.2	0.1